国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

平成２６年１月２２日
九州地方整備局
佐賀国道事務所

記者発表資料

国道２０２号伊万里バイパス４車線化！

～４車線化で安全性の向上が期待～

国土交通省佐賀国道事務所で整備を進めてきた国道２０２号伊万里バイパスの大坪地区延長１．０ｋｍが平成２６年１月３１日（金）の午後３時に４車線化になりますのでお知らせします。

これにより、伊万里バイパス延長４．６ｋｍ全ての４車線化が完成することになります。

※今回の開通に伴う開通式典等は予定していません。

【今回の開通により期待される主な効果】

①交通混雑の緩和！

・交通混雑が発生している上伊万里交差点付近において交通混雑が緩和されます。

②安全性の向上！（交通事故の減少が期待）

・広い幅の両側歩道の整備により通学等の歩行者の安全な通行が確保されます。
・中央分離帯設置により、追突事故等の減少が期待されます。

問い合わせ先

国土交通省　九州地方整備局　佐賀国道事務所
ＴＥＬ：０９５２－３２－１１５１（代表）

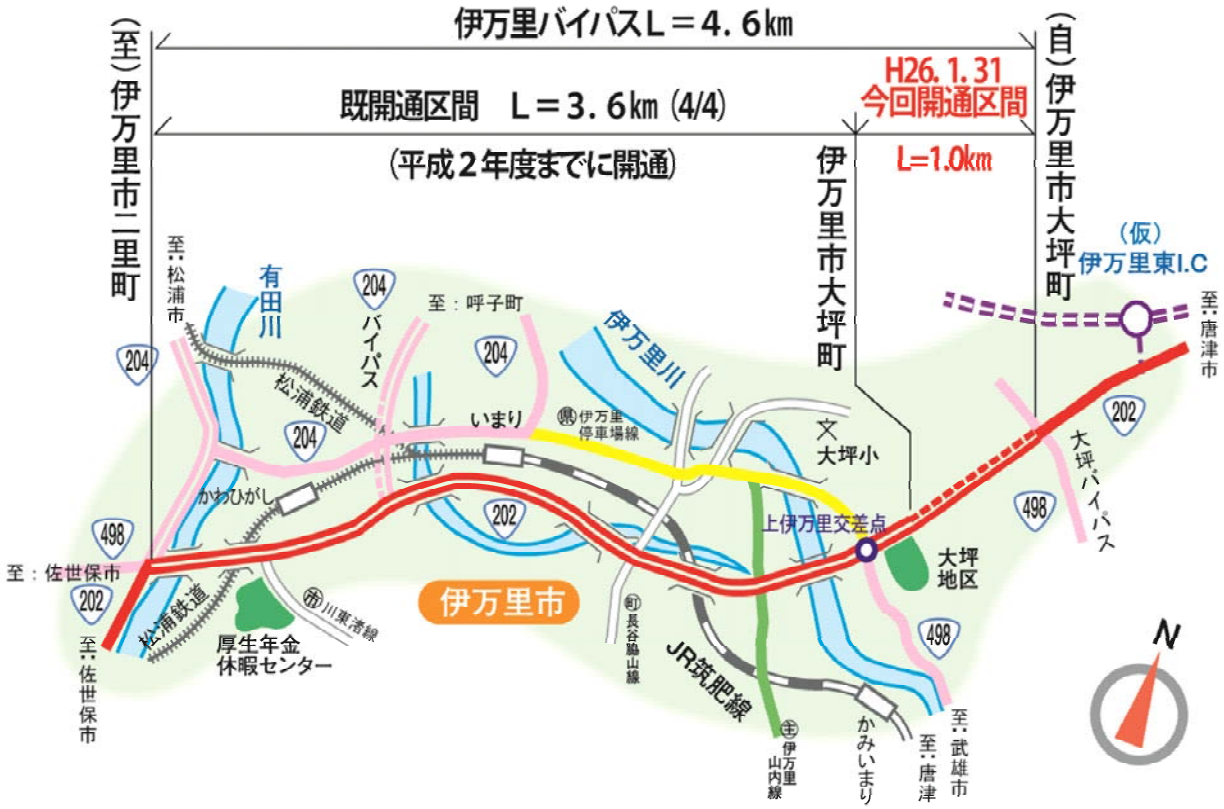
技術副所長　甲斐　浩己　（内線２０４）
工務課長　寺尾　幸太郎　（内線４１１）
計画課長　松尾　佳久　（内線２６１）

１．伊万里バイパスの概要

○国道２０２号伊万里バイパスは、伊万里市中心部の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした、伊万里市大坪（おおつぼ）町から伊万里市二里（にり）町に至る延長４．６kmの道路です。

○これまでに上伊万里（かみいまり）交差点付近から終点までのバイパス区間３．６kmについて４車線で開通しています。

【位置図】



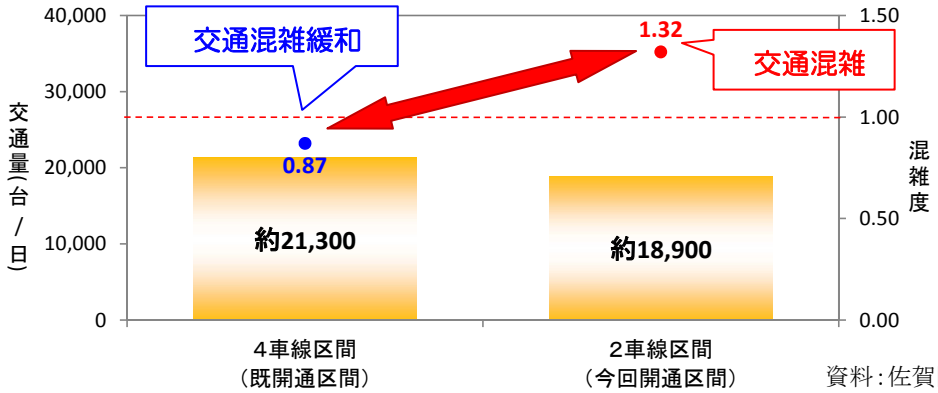
２．伊万里バイパス今回開通区間の主な整備効果

【効果１】交通混雑の緩和

○伊万里バイパス２車線区間（上伊万里（かみいまり）交差点付近）では、交通混雑が発生しており、混雑度も１．３２となっている。

⇒４車線化により十分な交通容量が確保され、交通混雑が緩和。

[参考]伊万里バイパス４車線・２車線区間の交通状況



資料：佐賀国道事務所調査結果

混雑度：道路の混み具合を表す数値。混雑度 1.0 以下であれば道路が混雑することなく円滑に走行できる状況。

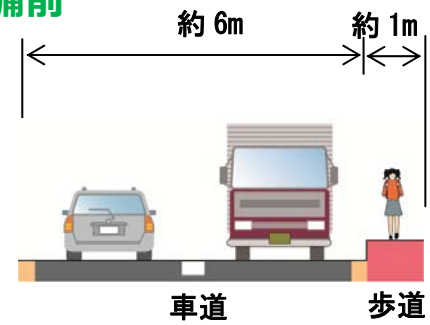
交通容量：その道路がもつ、混雑なく通過できる交通量。

【効果２】安全性の向上（交通事故の減少）

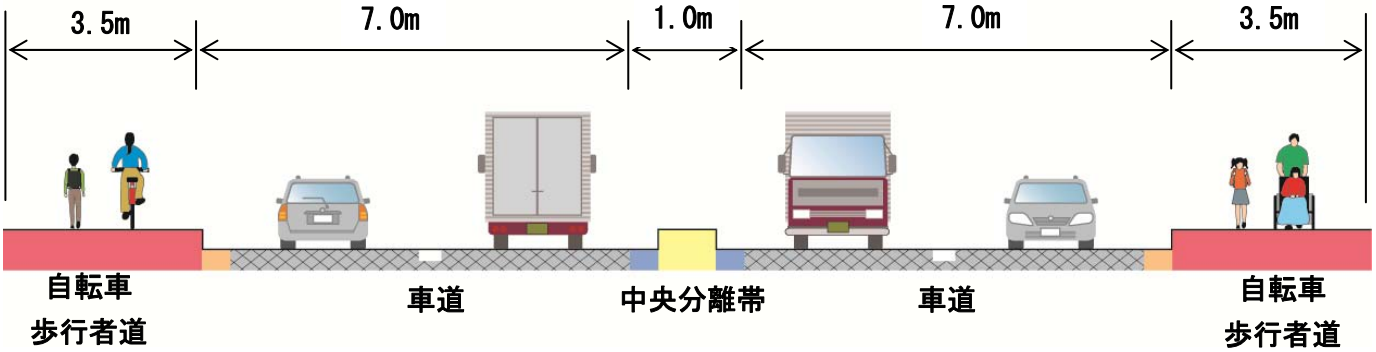
○広い幅の両側歩道の整備により、通学等における歩行者の安全性が向上。

○中央分離帯の設置により、追突事故等が減少し、安全性が向上。

整備前



▲交通混雑状況（上伊万里交差点付近）

▲児童の通学状況

整備後